

# アメリカ合衆国を代表する3つの宣言・演説 逐語訳

山岸 健一 2018.9

初めに、なぜ私がこうした試みをしたか、について述べる。

昨年(2017)から外国語の翻訳がマイ・ブームであった。学生時代に行ったラテン語のミサ・レクイエムの歌詞全訳を大改訂して PDF に仕上げたのがきっかけで、その後、ドイツ語の「ドイツ・レクイエム」「マタイ受難曲」、英語の「メサイア」といった歌詞を次々と“逐語訳”していったのである。歌う際には、歌詞の単語を順に発音していくわけだが、その際、各単語の意味を理解していなければならない。かつ、各単語が文法的にどのように結びついて文の意味を形成しているのかも知らねばならない。だから“逐語訳”にしたのである。

さて、歌った曲、及び歌う予定の曲の歌詞の翻訳が一段落したところで、「外国語ブームを趣味分野だけで終わりにしてはいけないのではなからうか」という社会科の教師としての“良心の声”(?! )が聞こえてきた。

そこでまず、リンカンのゲティスバーグ演説を訳してみた。これは短いので、順調に作業を終えることができた。

次に、長いもので価値あるものは、と考えて思いついたのがキング牧師の「私には夢がある」である。この演説は、冒頭部分「～年前」の表現がゲティスバーグ演説と同じ言い回しだ。演説の骨子は「独立宣言」の人権論である。ならば次は「独立宣言」も訳してみよう。そうすれば、1776年→1863年→1963年と、アメリカ合衆国の歴史を貫く「民主主義の精神」を代表する3つの宣言・演説が1セットになるではないか。— そう考えたのである。

余談だが、「私には夢がある」の最後の夢が、ヘンデル「メサイア」の歌詞にもなっている旧約聖書「イザヤ書」の引用だった。その後には「星条旗よ永遠なれ」が国歌に制定される前の「事実上の国歌」の歌詞がでてきて、調べてみるとこの詞は「イギリス国歌 God save the King (Queen)」のメロディで歌われるものだった。演説の最後は黒人霊歌のシンプルな歌詞で締めくくられている。趣味の音楽から始まった翻訳作業だが、ここでまた音楽につながったのも何かの縁だろう。

キング牧師の、「今こそ～の時だ」「我々は決して満足しない」「私には夢がある」といった、「短いスローガンの反復による高揚」は、ファシスト・ナチスも利用した手法である。キング牧師もそうした煽動政治家としての才能があった。しかしながらそのモデルはもちろん — ヒトラーではなく — イエスである。

“山上の垂訓”における「～の者は幸い」の連呼、例え話の多用、そして Amen と宣言してからの決定的な台詞。イエスは、「その通りですね」と他人に同意を示す Amen という語を、自らの言葉の冒頭にもってきて「こうでなければならないのだ」という意味で使用した。その文頭の Amen が各国語では「まことにお前たちに言うておく」と訳されている。ユダヤ教の教えも「聴けイスラエルよ」で始まる。つまりこれらの宗教はいずれも「語られた教えを聴く」のが基本なのである。

一方、ギリシアの古代民主政治でも弁論術が重視されていたことは周知の事実である。だから「どう語るか」を研究学習する『修辞学 rhetoric』は、ヨーロッパでは教養の中核を成し、中世の大学では“自由七科”の一つであった。その基本は演説の技術だが、聴衆に対する心理操作が大きな位置を占め、魅力的に見せるための身ぶりや発声法なども重要視された。つまり、言語学・詩学・演技論などの総体が修辞学であった。

リンカン、キングの2つの演説とも、原稿を読み上げたのではないことは確かである。リンカンの演説はいつも短くシンプルだったが人の心を打つものであったという。一方、キング牧師の演説は、残された映像からもわかるように、まるで神がかった即興演奏のようだ。これら2つに対して、「独立宣言」は“書かれた文章”として後世に残すものであったはずだ。しかし原文を見てみると、意外にも“語られる言葉”としての性格が強い。大陸会議の議場で“朗々と声に出して読み上げる”ための文章として作文されたのだろう。

これら3つにおける、分詞構文や that 節を駆使しての畳みかけるような展開、あるいは動作名詞など無生物主語による構文は、英語・ドイツ語(おそらく他のヨーロッパ語も)に特有のもので、こなれた日本語には訳しにくい。言語文化そのものが違うのだ、と認識してかからないと、彼らの「本気の語り言葉」にはついていけない。最低限の文法に則った論理的な作文能力・読解能力を、英語のみならず、それ以前に母語の日本語においてもしっかり身につけることこそが重要だろう。

にもかかわらず我が国は、「大学入試の英語に Speaking を採用する」「そのため英語の試験は民間検定を利用」して「新しい入試センター共通テストから英語を外す」、などというアホな入試改悪に突っ走っている。英検で測れる Speaking 能力なんてたかが知れてるではないか！ この逐語訳を、英語・日本語ともにきちんと読めれば、だいぶ言語能力が高まるのでは?.. などということを考えながらの翻訳作業でもあった。

# The Declaration of Independence July 4, 1776

— アメリカ独立宣言 (抄訳) —

## <基本的人権と革命権に関する前文>

When in the Course of human events, it becomes necessary for one people

～の時 ～のうち(間)で 人間の 出来事 必要になる ある 人民にとって

to dissolve the political bands which have connected them with another,

解消する 政治的な きずな (関代) 結びつけてきた 彼らを 他の(人民)と

and to assume among the powers of the earth, the separate and equal station

手に入れる ～の中で 強国たち 地球上の 独立した 平等の 地位を

to which the Laws of Nature and of Nature's God entitle them,

(関代) 法 自然 と 自然の 神 与える 彼らに

a decent respect to the opinions of mankind requires

適切な 尊重が 意見 人類 要求する

that they should declare the causes which impel them to the separation.

(接) 彼らは 宣言すべきである 理由を (関代) 強いる 彼らを 分離独立

人間の歴史において、ある国民が、彼らを他国民とを結び付けてきた政治的な絆を解消することが必要になった時、さらには、自然の法と自然神の法が彼らに与えるところの独立かつ平等の地位を地上の諸強国の中で獲得することが、必要となった時、  
(全)人類の意見に対する適切な尊重は、次のことを要求する。  
その国民は自分たちが分離独立を強いられた理由を宣言すべきである、と。

※「mankindの要求があるから答える」と書き始めている。しかしこれはレトリックで、彼らは以下のことを主張して当然だと考えている。  
当時、大陸会議の代表者たちがその意向を気にしていた相手がいるとすれば、それは植民地内での独立慎重派・反対派の人々であった。

**We hold these truths to be self-evident,**

我々は ～とみなす これらの真理を 自明である

※ endow(与える)→ be endowed with ～が授けられている

**that all men are created equal,**

(生まれつき)備わっている

(接) 全ての人々は 創造された 平等

※ unalienable = inalienable 【古】

that they are endowed by their Creator with certain **unalienable Rights,**

(接) 彼らは 与えられている 創造主により 確実な 譲ることのできない 権利

that among these are **Life, Liberty and the pursuit of Happiness.**

(接) これらの中には～がある 生命 自由 そして 追求 幸福

我々は、これらの真理を自明のこととみなしている。  
すなわち、すべての人間は平等なものとして創造され、  
その創造主によって、確実な譲ることのできない権利を与えられている  
— その権利の中には、生命、自由、および幸福の追求が含まれる — という真理である。

-- That to secure these rights, Governments are instituted among Men,

(接) 保護するため これらの権利を 政府が 設立される 人類の間に

deriving their just powers from the consent of the governed, ※ deriving(分詞構文)

ーを引き出す(由来する) その 正当な 権力 ~から 同意 統治される者

これらの権利を保護するために、人類の間に政府が樹立され、  
その(政府の)正当な権力は、統治される者の同意に由来する (という真理である)。

※こと次の2つの That 節は、前節でピリオドが打たれているので大文字で始まっているが  
いずれも前文の these truths にかかっている。

--That whenever any Form of Government becomes destructive of these ends,

(接) ~の時には いかなる形態の政府 ~になる 破壊的 これらの 目的

it is the Right of the People

権利である 人々の

to alter or to abolish it, and to institute new Government,

変える 廃止する それを 設立する 新しい 政府を

laying its foundation on such principles and organizing its powers in such form,

置く その 基盤を ~の上に そのような 原理 組織する その 権力を そのような 形態で

as to them shall seem most likely to effect their Safety and Happiness.

(関代) 彼らにとって ~に思える 最も 適切である 達成する 彼らの 安全 幸福

いかなる形態の政府であれ、政府がこれらの目的にとって破壊的なものになった時には、  
政府を改造し、または廃止し、あるいは新たな政府を設立し、  
彼らにとって安全と幸福を達成するのに最も適切である思えるような原理をその基盤に置き、  
また、そのよう (に適切と思えるよう) な形態で権力を組織する、  
ということは人民の権利である (という真理である)。

※ laying, organizing (分詞構文) ※ロックの革命権が明示されている。

Prudence, indeed, will dictate

思慮分別は なるほど 厳しく命令するだろう

that Governments long established should not be changed for light and transient causes;

(接) 政府 長い間 確立した 変えられるべきではない ~により 軽い 一時的な 理由

and accordingly all experience hath shewn,

従って 全ての 経験が 示してきた ※ hath=has【古】、shewn=shown【古】

that mankind are more disposed to suffer, while evils are sufferable,

(接) 人は より ~する傾向がある 我慢する ~の間は 害悪が 我慢しうる

than to right themselves by abolishing the forms to which they are accustomed.

~よりも 正す 自らの(状況)を 廃止する 形態 (関代) 彼らが 慣れさせられた

なるほど、思慮分別は厳しく戒めるだろう、  
長い間確立した政府は、軽々しい一時的な理由で変えられるべきではない、と。  
従って、全ての経験が示してきたように、  
人間は、害悪が我慢しうる間は、我慢しようとする傾向があるのだ、  
慣れさせられた形態を廃止することによって自らの状況を正すことよりも。

But when a long train of abuses and usurpations,

しかし ~の時 長い 連続が 悪用・濫用 強奪・横領

pursuing invariably the same Object

追求する 変わることなく 同じ 目的

evinces a design to reduce them under absolute Despotism,

証明する 意図・陰謀 無理に~の状態にする ~の下に 絶対的 専制政治

it is their right, it is their duty,

権利 義務

to throw off such Government, and to provide new Guards for their future security.

投げ捨てる そのような 政府を 提供する 新しい 保護 ~のため 将来の 安全

しかし、(権力の)濫用と強奪の長期にわたる連続が、変わることもない同じ目的を追求しており、  
人民を絶対的な専制政治の下に置こうとする意図が明らかであるときには、  
そのような政府を投げ捨て、自らの将来の安全のために新しい保護を提供することは  
人民の権利であり義務でもある。

--Such has been the patient sufferance of these Colonies;

そのようなものであった 我慢強い 黙認 これらの 植民地 (=我々)

※ここでは these Colonies を

them, their(彼ら)でうけているが

どれも「我々」と訳すべきだろう。

and such is now the necessity which constrains them

そのような 今や 必要性 (関代) 強制する 彼らを※

to alter their former Systems of Government.

変える 彼らの※ 今までの 体系 政府

これら植民地 (=我々) の我慢強い黙認は、まさにそうした事態であったのであり、  
今は、これまでの政府システムを変えるように我々を強いる、そのような必要性があるのだ。

The history of the present King of Great Britain

歴史 現在の 国王 イギリス

is a history of repeated injuries and usurpations,

歴史 度重なる 傷害(権利侵害) 強奪・横領

all having in direct object the establishment of an absolute Tyranny over these States.

全てが 持つ 直接の 目的 確立 絶対的な 圧政 これらの 諸邦

現在のイギリス国王の歴史は、度重なる権利侵害と強奪の歴史であり、  
そのすべてが、これらの諸邦に対する絶対的な圧政の確立を直接の目的としているのだ。

※ having 分詞構文

To prove this, let Facts be submitted to a candid world.

証明する 事実 提出する 率直な※ 世界

このことを証明するために、(以下の) 事実を率直なる世界(の人々)に向けて提示することとする。

※ candid 率直な、包み隠しのない、齒に衣を着せない

### <国王の暴政と本国議会・本国人の態度への抗議>

ここで、イギリスの国王及び政府・議会による、不正・権利侵害を列挙している。  
分量としては当宣言の半分を占めているが、ここでは省略する。

### <独立を宣言する結語>

We, therefore, the Representatives of the united States of America,

我々は それ故 代表者たちは ※アメリカ諸邦連合体の

in General Congress, Assembled,

※大陸会議に 招集された

※まだ合衆国は発足していない。この段階では

あくまでも大陸会議で団結した諸植民地連合体でしかない。

appealing to the Supreme Judge of the world for the rectitude of our intentions,

訴える 最高の 審判に 世界の ~を求めて 方正さ 我々の 意図

do, in the Name, and by Authority of the good People of these Colonies,

為す 名 権威 善良な 人民 これらの 植民地の

solemnly publish and declare,

厳粛に 公表 と 宣言

従って、我々、大陸会議に招集されたアメリカ諸邦連合体の代表者たちは、  
世界の最高の審判者に対して、我々の意図の方正さを訴え、  
これらの植民地の善良な人民の名において、そしてその(人民の)権威によって、  
(以下のことを)厳粛に公表し宣言するものである。

※大陸会議は Continental Congress。ここで General としたのは、自分たちの存在について、より一般性・普遍性を主張したかったからか？

That these United Colonies are, and of Right ought to be Free and Independent States;

(接) これら 連合した 植民地は ~である 権利として ~であるべき 自由 かつ 独立した 国家(複※)

これらの連合した植民地は、自由かつ独立した国家群※であり、  
また、権利として当然そうあるべきである(そうあるべき当然の権利がある)。

※ ought to ~するべき

※各植民地 Colony に独立した国家 State の権利がある、その連合体だというニュアンス。

※ of right ……副詞的に「権利として、当然」。この表現はその後、もう一度出てくる。

ここでは特に Right と大文字で書かれており、「当然の権利がある」と強調している感じ。

that they are Absolved from all Allegiance to the British Crown,

(接) ※ 解放される ～から 全ての 忠誠義務 ～への イギリス王冠

and that all political connection between them and the State of Great Britain,

(接) 全ての 政治的 関係は ～の間の 彼ら※ と イギリス国家

is and ought to be totally dissolved;

～である ～であるべき 全面的に 解消される

※当節と次節の they,them = 植民地連合。

ここも前述と同じく「我々」のことである。

(我々) 植民地連合は、イギリス王冠へのあらゆる忠誠義務から解放される。  
また、植民地連合とイギリス国家との間の全ての政治的関係は、  
全面的に解消され、また解消されるべきである。

and that as Free and Independent States,

(接) ～として 自由な 独立した 国家

※ levy 「税を課す」「兵を徴集する」「戦争を始める」

※ conclude 「結論を出す」「終える」「条約を結ぶ」

they have full Power to levy War, conclude Peace, contract Alliances,

持つ 完全な 権力 始める 戦争を 締結する 平和 結ぶ 同盟

establish Commerce, and to do all other Acts and Things

確立する 通商 行う その他全ての 行為 事柄

which Independent States may of right do.

(関代) 独立国家が ～できる 権利として 行う

(我々) 植民地連合は、自由な独立した国家として、戦争を始め、平和条約を締結し、同盟を結び、  
通商を確立し、その他、独立国家が権利として行うことができる全ての行為・事柄を行う、  
完全な権限を有する。

And for the support of this Declaration,

～のため 支持 この 宣言

with a firm reliance on the protection of divine Providence,

～とともに 揺るがぬ 信頼 保護 神の 摂理

we mutually pledge to each other our Lives, our Fortunes and our sacred Honor.

我々は 相互に 誓う ～に対して 相互に 我々の 生命 財産 神聖な 名誉

そして、この宣言を支持するため、神の摂理による保護への揺るぎない信頼とともに、  
我々は、我々の生命・財産・および神聖な名誉に対して、相互に誓約する。

1776年6月10日、大陸会議は「独立宣言起草委員会」を設置した。この委員会は、トマス・ジェファソン(後の第3代大統領)、ジョン・アダムズ(同第2代)、ベンジャミン・フランクリン他2名の計5名で構成された。しかしこの独立宣言は、ほぼジェファソンの手になるものと言ってよい。内容としてはロックの社会契約論の影響が大きい。「革命権」が盛り込まれていることからそれは明らかである。

なお、大陸会議で独立宣言に署名した各植民地代表は56人いたが、その中にも、後に初代大統領になるワシントンは入っていない。彼は植民地軍総司令官として独立戦争を転戦していたからである。

© Kenichi Yamagishi 2018

# Gettysburg Address

# Abraham Lincoln

— ゲティスバーグの演説 全訳 —

November 19, 1863

Four score and seven years ago

4 × 20 + 7 年 前

our fathers brought forth on this continent, a new nation,

我らの 父祖達は もたらした はるばる この 大陸に 新しい 国家を

conceived in liberty, and dedicated to the proposition that all men are created equal.

創設され ~の中に 自由 そして 捧げられた ~へ 定理 (関代) 全ての人々は 造られている 平等に

87年前、我々の父祖達は、はるばるこの大陸に新しい国家をもたらしました。  
自由の理念によって創設され、そして全ての人々は平等に造られているという定理に捧げられた国家を。

※リンカン、この国家をヨーロッパから海を越えて持ってこられたものと考えている。

※conceiveは「抱く、孕む」などの意味の動詞だが、受身形では「創設される」という意味がある。

「胎内で育まれて生まれた」というニュアンスか。(辞書にも当演説のこの箇所が例文としてあげられている。)

Now we are engaged in a great civil war, testing whether that nation,

今 我々は 従事する 大きな 内戦 試す ~か否か その国家が ※分詞構文、weが主語

or any nation so conceived and so dedicated, can long endure.

また どんな国家も そのように創設され そのように捧げられた 長く 持ちこたえる

今、我々は一大内戦に従事しています。(そしてそれによって、) その国家が、  
あるいはまた、同じく(自由の理念で)創設され、同じ(平等の)定理に捧げられたあらゆる国家が、  
長く持ちこたえることができるか否かを試しているのです。

※civil war(内戦)。→The Civil Warと表記された場合はアメリカ唯一の内戦である「南北戦争」を指すのが普通。

(ただしイギリス史では「ピューリタン革命」の内戦を指す。)

We are met on a great battlefield of that war.

我々は 出迎えられている 大きな 戦闘地 その 戦争の

我々は、その戦争の一大戦場に出迎えられています。

※meet 出会う、出迎える。ここでは受動態なので後者。戦死者たちに出迎えられている、というニュアンスか。

We have come to dedicate a portion of that field, as a final resting place

我々は やって来た 捧げるために 一部を その戦場の ~として 終の 安息の 場所

for those who here gave their lives that the nation might live.

~のために 人々(関代) ここで 差し出した 生命を (接※) その国が ~できる 生きる

我々は、その国家が存続できるようにと、ここで命を差し出した人々のため、  
その戦場の一部を、終の安息の場所として捧げるために、ここに來たのであります。

※ここでは目的を表す副詞節を導いているが、その場合、that単独は稀である(so thatが普通)。

It is altogether fitting and proper that we should do this.

それは 全く(完全に) ふさわしい 適切な (接) 我々が ~する これを

我々がそうすることは、全くふさわしい適切なことでもあります。(是非そうすべきでありましょう。)

※ It is ~ that - should -. (~に必要・重要・妥当を示す形容詞がきた上での、that 節の should は間接的に要求・提案・願望を表す)

But, in a larger sense,

しかし より広い 意味において

we cannot dedicate - we cannot consecrate - we cannot hallow - this ground.

我々は ~できない 捧げる 聖別する 神聖化する この 地を

しかしながら、さらに広い意味においては、  
我々はこの土地を、捧げることはできません。聖別することも、神聖化することもできません。

The brave men, living and dead, who struggled here,

あの 勇敢な 男達が 生きている 死んでいる (関代) 奮闘した ここで

have consecrated it, far above our poor power to add or detract.

聖別した この地を 遥か上に 我らの 貧しい 力が 加える 損なう ※ power が不定詞句の主語

生き残った者にせよ戦死した者にせよ、ここで悪戦苦闘したあの勇敢な男たちこそ、  
我々の貧しい力が加減することもできないほど遥かに崇高に、この土地を聖別したのであります。

The world will little note, nor long remember what we say here,

世界は 注意する 長く 覚えている (関代) 我々が 語る ここで

※ little ~, nor--

but it can never forget what they did here.

あまり~ない、また~ない

(世界は) 忘れる (関代) 彼らが 為した ここで

世界は、ここで我々が語ることには、あまり注意せず、長く覚えていることもないでしょう。  
しかし(世界は)、彼らがここで行ったことを決して忘れることはできません。

It is for us the living, rather, to be dedicated here to the unfinished work

我々 生き残った者 むしろ 捧げられるべき ここで ~へ 未完成の 仕事

which they who fought here have thus far so nobly advanced.

(関代) 彼ら(関代) 戦った ここで (現完) かくも先まで そんなにも高貴に 進めてきた

彼らが、こんなにも先まで、そんなにも高貴に、進めてきた未完成の仕事に対して、  
ここで捧げられるべきなのは、むしろ、我々生き残った者であります。



It is rather for us to be here dedicated to the great task remaining before us

むしろ 我々 ここで 捧げられるべき ～へ 大きな 任務 残っている ～の前に 我々

我々の前に残っている大きな任務に対して、ここで捧げられるべきは、むしろ我々であります。

※以下、「我々に残された大きな任務」について、接続詞 that 節「我々は～します」という形で羅列されている。

- that from these honored dead we take increased devotion to that cause

(接) ～から これら 名誉ある 死者 我々は 受け継ぐ より一層の 献身 その 大義・主義

for which they gave the last full measure of devotion;

～のため (関代) 彼らが 差し出した 最後の 全力をあげての 献身

すなわち、我々は、これら名誉ある戦死者から、  
彼らが最後の全力を挙げて身を捧げたその大義に対する、より一層の献身を受け継ぎます。

- that we here highly resolve that these dead shall not have died in vain;

(接) 我々は ここで 高く ～と決意する これらの 死者が (話者の意志) 死んだ 空しく

我々は、これらの死者が無駄に死んだことにさせないと、ここに高らかに決意します。

- that this nation, under God, shall have a new birth of freedom;

(接) この国が 神の下で (話者の意志) 持つ 新しい 誕生 自由

この国が、神のもとで、自由の新しい誕生を持つようにします。(この国に新しい自由を誕生させます)

- and that **government of the people, by the people, and for the people,**

(接) 政府が 人民の 人民による 人民のための

shall not perish from the earth.

(話者の意志) 消え去る ～から 地球

そして、**人民の人民による人民のための政府**が、この地上から消え去ることのないようにします。

1863年7月1-3日、南北戦争における最大の激戦がゲティスバーグの戦いである。ゲティスバーグは、ペンシルベニア州南辺(メリーランド州ボルティモアの北西、ワシントンDCのほぼ真北約80km)に位置する。すなわち北部の領域であり、南軍がここまで攻め込んできたのである。この南北両軍で4万5千人以上の死傷者を出した戦いが、南北戦争の大きな転換点となった。この演説の5日後、11月24日には、後にキング牧師の「私には夢がある」で言及されるルックアウト山近辺でも戦いがあり、以後、北軍が南軍を追い詰めていくことになる。1865年4月9日、南軍のリー将軍が降伏して南北戦争は終結するが、その6日後、4月15日にリンカーンは観劇中に暗殺された。

南北戦争は、1861年、リンカーン大統領就任直後に、奴隷制存続を主張する南部諸州がアメリカ連合(Confederate States of America)として、北部の合衆国から独立を宣言したことから始まった。1863年元日に奴隷解放宣言が有効となったが、この演説では特に奴隷制については言及せず、「独立宣言」の精神をもって締めくくっている。

# "I have a dream!" Martin Luther King Jr.

— “私には夢がある！” — 全訳

August 28, 1963

© Kenichi Yamagishi 2018

I am happy to join with you today in what will go down in history

嬉しい 参加する あなた方と共に 今日 (関代) 記録される 歴史に

as the greatest demonstration for freedom in the history of our nation.

～として 最も偉大な デモ ～を求めて 自由 歴史 我々の 国

今日私は、この集会にあなた方とともに参加することを嬉しく思います。  
我が国の歴史の中で、自由を求める最も偉大なデモとして歴史に残るであろうこの集会に。

Five score years ago, a great American, in whose symbolic shadow we stand today,

5 × 20 年 前 一人の偉大な アメリカ人が ～の中に 彼の 象徴の 影 我々は 立つ 今日

signed the Emancipation Proclamation.

※ emancipate (解放する、自由にする)

署名した

奴隷解放宣言

※ proclaim (公布する)

百年前、ある偉大なアメリカ人が奴隷解放宣言に署名をした、  
— 今日、我々は彼を象徴する座像の影に立っているのです。

※この日のデモはワシントン記念塔からリンカン記念堂まで行進し、演説はリンカンの座像の前で行われた。

This momentous decree came as a great beacon light of hope

極めて重大な 布告は 訪れた ～として 大きな 信号灯 光 希望 ※ sear ～を焦がす、焼く

to millions of Negro slaves who had been seared in the flames of withering injustice.

何百万の 黒人 奴隷たち (関代) 焼かれていた 炎 ひるませる(萎縮させる) 不正

It came as a joyous daybreak to end the long night of their captivity.

訪れた ～として 喜ばしい 夜明け ～を終える 長い 夜 彼らの 拘留・隷属

この極めて重大な布告は、見る者を萎縮させるような不正義の炎に焼かれていた  
何百万もの黒人奴隷たちにとっては、大きな希望の光信号として訪れた。  
それは、彼らの拘留・隷属の長い夜を終わらせる、喜ばしい夜明けとして訪れたのであった。

But one hundred years later, the Negro still is not free.

しかし 百 年 後 黒人は 依然として 自由ではない

One hundred years later, the life of the Negro is still sadly crippled

生活は 黒人の 依然として 悲しくも 不自由である

※ cripple 肢体不自由にする

by the manacles of segregation and the chains of discrimination.

手枷 人種差別 鎖 差別待遇

しかしながら、百年後(の今)、黒人は依然として自由ではない。  
百年後(の今)、黒人の生活は、悲しくも依然、人種差別の手枷と差別待遇の鎖によって不自由である。

One hundred years later, the Negro lives on a lonely island of poverty

黒人は 生きる 孤独な 島 貧乏

in the midst of a vast ocean of material prosperity.

真ん中 広大な 海洋 物質的 繁栄

百年後(の今)、黒人は物質的繁栄の広大な海洋の真ん中に浮かぶ、貧困の孤島に住んでいる。

One hundred years later, the Negro is still languished in the corners of American society

黒人は 依然として 閉じ込められ 片隅に アメリカ 社会の

and finds himself an exile in his own land.

～と思う※ 彼自身を 亡命者 彼自身の 国 ※ find A (to be)～ Aが～であると思う

百年後(の今)、黒人は依然としてアメリカ社会の片隅に閉じ込められ、  
自国にありながら、自らを亡命者のようだと思っている。

And so we've come here today to dramatize a shameful condition.

そこで 我々は 来たのだ ここに 今日 劇的に表現する 恥ずべき 状況を

そこで私たちは今日、この恥ずべき状況を劇的に訴えるために、ここに来たのである。

In a sense we've come to our nation's capital to cash a check.

ある意味で 我々は 来た 我々の 国の 首都に 現金化する 小切手を

ある意味で、我々は、小切手を換金するためにわが国の首都に来たのだ。

When the architects of our republic wrote the magnificent words

～の時 建築家たちが 我々の共和国 書いた 立派な 言葉を

of the Constitution and the Declaration of Independence,

憲法 と 独立宣言に

they were signing a promissory note to which every American was to fall heir.

彼らは 署名していた 約束手形 (関代) あらゆる アメリカ人が 相続人

我々の共和国の建築家たちが、合衆国憲法と独立宣言に崇高な言葉を書き記した時、  
彼らは、あらゆるアメリカ人が相続人となるべき約束手形に署名していたのである。

※ be 動詞 + to 不定詞の用法……①.予定、②.義務、③.可能、④.意図、⑤.運命。 ここでは①②⑤

※ fall ～という状態になる (その状況に陥る) ※ heir (to ～)～の相続人

This note was a promise that all men,

この 手形は 約束 (接) 全ての人々が

yes, black men as well as white men, would be guaranteed

そう! 黒人も ~と同様 白人 保障される

the "unalienable Rights" of "Life, Liberty and the pursuit of Happiness."

『譲ることのできない権利』 『生命、自由、そして幸福追求』の

この手形は、約束であった(はずだ)。そうだ! 全ての人々は、— 黒人も白人と同じく — 『生命、自由、そして幸福の追求』という『譲ることのできない権利』を保証される、という約束だ。

※"unalienable Rights"、"Life, Liberty and the pursuit of Happiness"は独立宣言からの引用。unalienable は inalienable の古形。

It is obvious today that America has defaulted on this promissory note,

明らかだ 今日 (接) アメリカは 債務不履行する この 約束手形

insofar as her citizens of color are concerned.

※ default デフォルト、債務不履行する

~に限っては その 市民 有色の 関係がある

今日、有色人種市民に関する限り、アメリカがこの約束手形に義務不履行であるのは明らかである。

Instead of honoring this sacred obligation,

~の代わりに ~を遵守する この 神聖な 義務

America has given the Negro people a bad check,

アメリカは 与えた 黒人 不良小切手

a check which has come back marked "insufficient funds."

小切手 (関代) 戻ってきた 印をつけられて 『残高不足』

この神聖な義務を果たす代わりに、アメリカは黒人に対して不渡りの小切手を渡していたのだ。その小切手は「残高不足」※の印をつけられて戻ってきた。 ※相手の口座が残高不足で引き落とせない

But we refuse to believe that the bank of justice is bankrupt.

しかし我々は拒絶する 信ずる (接) 銀行 正義 破産宣告された

We refuse to believe that

我々は拒絶する 信ずる (接)

there are insufficient funds in the great vaults of opportunity of this nation.

残高不足 大きな 銀行の地下金庫 向上の見込み この 国

しかし我々は拒絶する。正義の銀行が破産宣告されたと信ずることを。我々は拒絶する。この国の可能性を納めた大きな地下金庫室が残高不足であると信ずることを。

※ vault... ヴォールトは、ロマネスク様式やゴシック様式の大聖堂において、丸天井を支える骨組み(穹窿)のこと。

銀行の地下金庫室もこれと同じく堅固な構造であることから、この単語なのだろう。

And so, we've come to cash this check,

そう、だから、我々は 来た 現金化する 小切手を

a check that will give us upon demand the riches of freedom and the security of justice.

小切手 (関代) 与える 我らに 請求に応じて 富・財産 自由 保証 正義

そう、だから我々はこの小切手を換金するために来ているのである。  
自由という財産と、正義という保障を、請求に応じて我々に与えてくれるこの小切手を。

We have also come to this hallowed spot

我々は また 来た この 神聖な 地に

to remind America of the fierce urgency of Now.

思い出させる アメリカに 強烈な 緊急事態 現在の

This is no time to engage in the luxury of cooling off

～の時間は無い ～に関わる 贅沢 冷却期間

or to take the tranquilizing drug of gradualism.

鎮静させる 薬 漸進主義

我々はまた、現在の大変な緊急事態をアメリカに思い出させるために、この神聖な地に来たのだ。  
冷却期間という贅沢に関わったり、漸進主義という鎮静薬を飲んだりしている時間はないのだ。

※「頭を冷やそう」とか「少しずつ進んでいこう」とか、言っている場合じゃないよ！

Now is the time to make real the promises of democracy.

今こそ その時なのだ 現実化する 約束 民主主義

今こそ、民主主義の約束を現実にする時である。

Now is the time to rise from the dark and desolate valley of segregation

立ち上がる ～から 暗い 荒廃した 谷 人種差別

to the sunlit path of racial justice.

～へ 日の当たる 小道 人種的 正義

今こそ、暗く荒廃した人種差別の谷から立ち上がり、日の当たる人種的正義の道へと向かう時である。

Now is the time to lift our nation from the quicksands of racial injustice

持ち上げる 我々の国を ～から 流砂 (=危険な状態) 人種的 不正義

to the solid rock of brotherhood.

～へ 堅固な 岩 兄弟愛

今こそ、我々の国を、人種的不正義の流砂から、堅固な兄弟愛の岩盤の上へと引き上げる時である。

Now is the time to make justice a reality for all of God's children.

～を一にする 正義 現実 ～のために 全ての神の子どもたち

今こそ、すべての神の子どもたちのために、正義を現実にする時である。

It would be fatal for the nation to overlook the urgency of the moment.

致命的な ～にとって この国 見過ごす 緊急事態 今、この時の

今この時の緊急事態を見過ごすことは、この国にとって致命的となるであろう。

This sweltering summer of the Negro's legitimate discontent will not pass

酷暑の 夏は 黒人の 正当な(もつともな) 不満 過ぎ去ることはないだろう

until there is an invigorating autumn of freedom and equality.

～まで 爽やかな 秋 自由 平等

黒人の正当な不満に満ちたこの酷暑の夏は、  
自由と平等の爽快な秋が到来するまでは、終わることがないであろう。

Nineteen sixty-three is not an end, but a beginning.

1963 年は 終わりではない 始まりである。

1963 年は、終わりではなく始まりである。

And those who hope

～と期待する人々は

※ blow off steam (= let off steam) モヤを吹き飛ばす→鬱憤を晴らす

that the Negro needed to blow off steam and will now be content

(接) 黒人は 必要だった 鬱憤を晴らす ～だろう 今は 満足している

will have a rude awakening if the nation returns to business as usual.

不意 の 目覚まし もし この国が 戻る 本分・仕事 普段の

黒人は鬱憤を晴らす必要があったのであり、今は満足しているだろう、などと期待する人々は  
この国が普段の状態に戻ったならば、不意の目覚ましを喰らうことになるだろう。

And there will be neither rest nor tranquility in America

～だろう ～ない 安息 ～もない 静穏 アメリカには ※ neither ~ nor ~ もーも無い

until the Negro is granted his citizenship rights.

～までは 黒人が 認められる 市民権を

黒人に公民権が与えられるまでは、アメリカには安息も静穏もないだろう。

The whirlwinds of revolt will continue to shake the foundations of our nation

旋風は 反乱 ～続けるだろう 動揺させる 基盤を 我々の国の

until the bright day of justice emerges.

～までは 明るく輝く 日が 正義の 出現する

正義の明るく輝く日が出現するまで、反乱の旋風は我々の国の基盤を動揺させ続けるだろう。

But there is something that I must say to my people,

しかし ～のことがある (接) 私は 言わなければならない 我が同胞に

who stand on the warm threshold which leads into the palace of justice:

(関代) 立つ ～に 暖かい 玄関・入口 (接) 導く ～の中へ 殿堂 正義

しかし私は、正義の殿堂の暖かい入口に立つ同胞に、言わなければならないことがある。

In the process of gaining our rightful place, we must not be guilty of wrongful deeds.

過程 獲得していく 我々の 正当な 場所 我々は 罪を犯してはならない 不正な 行為

Let us not seek to satisfy our thirst for freedom

～しよう 求めない 満足させる 我々の 乾き 自由

by drinking from the cup of bitterness and hatred.

飲むことによって ～から 杯 適意 憎悪

正当な居場所を獲得する過程において、我々は不正行為という罪を犯してはならない。  
敵意と憎悪の杯を飲むことによって、自由への渇きを満足させることを求めないようにしよう。

We must forever conduct our struggle on the high plane of dignity and discipline.

～せねばならぬ 絶えず 遂行する 我々の 闘争を ～において 高い 水準 尊厳 規律

We must not allow our creative protest to degenerate into physical violence.

～許してはならない 我々の 創造的な 抗議 墮落する ～の中へ 物理的な 暴力

我々は、絶えず、尊厳と規律の高い水準において、闘争を遂行しなければならない。  
我々は、我々の創造的な抗議が、物理的暴力へと墮落することを許してはならない。

※この暴力否定はガンディーの影響であろう。

Again and again,

we must rise to the majestic heights of meeting physical force with soul force.

我々は 昇らねばならない 荘厳な 高み ～と対抗する 物理的 力 ～をもって 魂の 力

何度でも繰り返し、  
我々は、魂の力をもって物理的な力と対抗する、という荘厳な高みに昇らなければならない。

The marvelous new militancy which has engulfed the Negro community

驚くべき 新たな 闘争性が (接) ~を飲み込む 黒人の共同体

must not lead us to a distrust of all white people,

~してはならない 導く 我らを 不信 全ての 白人

for many of our white brothers, as evidenced by their presence here today,

なぜなら 多くが 我々の 白人の 兄弟たち ~ように 証明されている 彼らの存在によって

have come to realize that their destiny is tied up with our destiny.

~するようになった 認識する (接) 彼らの運命は 固く結びつけられている 我々の運命と

And they have come to realize

また 彼らは 認識するようになった

that their freedom is inextricably bound to our freedom.

(接) 彼らの 自由が 解けないように 縛り付けられている 我々の自由と

驚くべき新たな闘争性が黒人社会を飲み込んでいて、  
それが我々を、全ての白人に対する不信へと、導くようなことがあってはならない。  
なぜなら、我々の白人の兄弟たちの多くは、今日ここでの彼らの存在によって証明されるように、  
彼らの運命が我々の運命と、固く結びつけられていることを、認識するようになったからである。  
また彼らは、彼らの自由が我々の自由と、分かち難く縛り付けられていることを、  
認識するようになったからである。

We cannot walk alone. And as we walk,

~する時

we must make the pledge that we shall always march ahead. We cannot turn back.

~しなければならない 誓約 (接) 常に 行進 前へ 引き返す

我々は一人で歩くことはできない。そして、歩くからには、  
常に前進あるのみ、と誓わなければならない。引き返すことはできないのである。

There are those who are asking the devotees of civil rights, "When will you be satisfied?"

~の人たちがいる (接) ~に尋ねる 献身する人々 公民権(運動) 満足する

公民権運動に献身する人々に対して「あなたはいつになれば満足するのか」と聞く人たちがいる。

We can never be satisfied

as long as the Negro is the victim of the unspeakable horrors of police brutality.

~である限り 黒人が 犠牲者 言語に絶する 恐怖 警察の 残虐行為

我々は、決して満足することはできない。  
黒人が、警察の残虐行為による言語に絶する恐怖の犠牲者である限り。



We can never be satisfied as long as

our bodies, heavy with the fatigue of travel,

身体が 重い 疲労 旅

cannot gain lodging in the motels of the highways and the hotels of the cities.

得られない 宿泊する モーテル 幹線道路 ホテル 市街地

我々は、決して満足することはできない。

我々の旅に疲れた重い体を、道路沿いのモーテルや町のホテルに宿泊して休めることができない限り。

We cannot be satisfied as long as

※ ghetto(ヨーロッパの都市におけるユダヤ人居住区)

the negro's basic mobility is from a smaller ghetto to a larger one.

黒人の 基本的な 可動性 小さな ゲットー 大きな

我々は満足することはできない。

黒人の基本的な移動の範囲が、小さなゲットーから大きなゲットーまでである限り。

We can never be satisfied as long as our children are stripped of their self-hood

我々の子供達が 剥ぎ取られる 個性

and robbed of their dignity by a sign stating: "For Whites Only."

奪われる 尊厳 標識 ～と書かれた 白人専用

我々は決して満足することはできない。我々の子どもたちが、

「白人専用」と書かれた標識によって、個性を剥ぎ取られ、尊厳を奪われている限り。

We cannot be satisfied as long as a Negro in Mississippi cannot vote

黒人が ミシシッピ州の 投票できない

and a Negro in New York believes he has nothing for which to vote.

黒人が ニューヨーク州の 信じている 何も無い (関代) 投票する

我々は決して満足することはできない。(南部の)ミシシッピ州の黒人が投票できず、

(北部の)ニューヨーク州の黒人が投票に値する対象は無いと考えている限り。

No, no, we are not satisfied, and we will not be satisfied

until justice rolls down like waters, and righteousness like a mighty stream.

～まで 正義が 流れ落ちる ～のように 川の水 公正が 力強い 流れ

そうだ、我々は満足することはないのだ。我々は決して満足することはないだろう。

正義が川の水のように流れ落ち、公正が力強い急流となって流れ下るまで。

I am not unmindful that some of you have come here out of great trials and tribulations.

忘れている (節) あなた方の中にある 来た ここへ ~から出て 大きな 試練 苦難

Some of you have come fresh from narrow jail cells.

~したばかり 狭い 刑務所 監房

And some of you have come from areas where your quest -- quest for freedom

あなたの 追求 追求が 自由への

left you battered by the storms of persecution

放置した あなたを 打たれる 嵐によって 迫害の

and staggered by the winds of police brutality.

よるめかされる 風によって 警察の 残虐行為

私は忘れているわけではない。

ここに、多大な試練と苦難を乗り越えてきた人々が、あなたがたの中にいることを。  
刑務所の狭い監房から出てきたばかりの人たちも、あなたがたの中にいる。  
また、あなたの追求 — 自由への追求の故に、迫害の嵐に打たれ、  
警察の残虐行為の旋風によるめさかれた、その場所からここへ来た人たちもいる。

You have been the veterans of creative suffering.

ヴェテラン 創造的な 苦痛

Continue to work with the faith that unearned suffering is redemptive.

続けよ 働く 信念 (接) 不当な 苦痛は 贖われる

あなたがたは、他に類を見ないような苦痛についてのヴェテラン(古参兵)である。  
これからも、不当な苦しみは贖われるという信念とともに活動を続けるのだ。

※ creative を否定的な意味に使う例として creative accounting(粉飾決算)などがある。

ここでも「人為的で、かつ他に類がない」といったニュアンスで訳してみた。

Go back to Mississippi, go back to Alabama, go back to South Carolina,

go back to Georgia, go back to Louisiana,

go back to the slums and ghettos of our northern cities,

knowing that somehow this situation can and will be changed.

(分詞構文)~と確信して どうにかして この 状況は 変えられる

ミシシッピ州へ帰るのだ。アラバマ州へ帰るのだ。サウスカロライナ州へ帰るのだ。  
ジョージア州へ帰るのだ。ルイジアナ州へ帰るのだ。 ※以上は「南部」  
北部の都市のスラム街やゲットーへ帰るのだ。  
どうにかして、この状況を変えることは可能だし、変えられるだろうということを確認しつつ。

Let us not wallow in the valley of despair, I say to you today, my friends

もがく 谷 絶望 私は言う あなたがたに 今日 我が友たちよ

- so even though we face the difficulties of today and tomorrow,

そう たとえ~であっても 我々が 直面する 困難 今日 明日

I still have a dream. It is a dream deeply rooted in the American dream.

依然として 深く ~に根ざした アメリカン・ドリーム

絶望の谷間でもがくことをやめよう。我が友たちよ、今日、私はあなた方に言うておく。  
そう、我々は今日も明日も困難に直面するが、たとえそうであっても、  
依然として、私には夢がある。それは、アメリカン・ドリームに深く根ざした夢である。

I have a dream that one day

this nation will rise up and live out the true meaning of its creed:

この国が 立ち上がる 実現する 真の 意味を その 信条の

"We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal."

我々は 信ずる これらの 事実を 自明である (接) 全ての人間は 創造された 平等に

私には夢がある。それは、いつの日か、  
この国が立ち上がり、その信条の真の意味を実現するであろうという夢である。  
(その信条とは)『我々は以下の事実を自明のことに信ずる。すなわち全ての人間は  
平等に造られたということである』(という独立宣言に記された言葉である。)

I have a dream that one day on the red hills of Georgia,

the sons of former slaves and the sons of former slave owners

息子たち かつての 奴隷 と 息子たち かつての 奴隷所有者

will be able to sit down together at the table of brotherhood.

~することができるだろう 席に着く とともに テーブルに 兄弟愛

私には夢がある。それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘の上で、  
かつての奴隷の息子たちと、かつての奴隷所有者の息子たちが、  
ともに兄弟愛のテーブルにつくことができるだろう、という夢である。

I have a dream that one day even the state of Mississippi,

~でさえ ミシシッピ州

a state sweltering with the heat of injustice, sweltering with the heat of oppression,

州 うだるような ~で 熱 不正 圧制

will be transformed into an oasis of freedom and justice.

変化させられる オアシス 自由 正義

私には夢がある。それは、いつの日か、不正と圧制の熱でうだるようなミシシッピ州でさえ、自由と正義のオアシスに変化させられるだろうという夢である。

I have a dream that

my four little children will one day live in a nation where they will

私の 4人の 小さな 子供たちが いつの日か 住む 国 (関代)

not be judged by the color of their skin but by the content of their character.

～によってではなく 色 肌 (評価される) 内容によって 性格

私には夢がある。それは、いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、性格の中身によって評価される国に住むだろうという夢である。

I have a dream today!

今日、私には夢がある。

I have a dream that one day, down in Alabama, with its vicious racists,

草原丘陵地 アラバマ州 邪悪な 人種差別主義者

with its governor having his lips dripping with the words of "interposition" and "nullification"

知事 持つ 口唇 あふれさせる 言葉 干渉・妨害 連邦法実施拒否

-- one day right there in Alabama little black boys and black girls will be able to join hands

まさに そこ アラバマ州でも 黒人の少年少女が ～できるだろう 手をつなぐ

with little white boys and white girls as sisters and brothers.

～と 白人の少年少女 ～として 兄弟姉妹

私には夢がある。それはアラバマ州の草原丘陵地帯、— あの邪悪な人種差別主義者たちのいる、— 「州権主義」や「連邦法実施拒否」といった言葉を垂れ流す唇を持つ州知事のいる— まさにそのアラバマ州でさえも、いつの日か、黒人の少年少女が白人の少年少女と、兄弟姉妹として手をつなげるようになるだろう、という夢である。

※このアラバマ州知事(ジョージ・ウォレス)については後述。

※ interposition(干渉・妨害)……この言葉は、人種差別を続ける州の政治家が、差別廃止をもとめる中央政府に対して「それは干渉・妨害だ」「州には州の方針があつて当然(=州権主義)」と主張して使用したものである。アメリカは強い独立性を持つ各州の連邦制国家であるため、州と中央政府の緊張関係は常に存在している。

I have a dream today!

今日、私には夢がある。

I have a dream that one day

every valley shall be exalted, and every hill and mountain shall be made low,  
すべての谷は (話者の意志) 高くされる すべての 丘 と 山は 低くされる

the rough places will be made plain, and the crooked places will be made straight,  
でこぼこした 場所は 平らにされる 曲がりくねった 場所は

and the glory of the Lord shall be revealed and all flesh shall see it together.  
栄光は 主の 明らかにされる 全ての 肉体は 見る それを とともに

私には夢がある。それは、いつの日か、  
あらゆる谷が高められ、あらゆる丘と山は低められ、  
でこぼこした所は平らにならされ、曲がった道がまっすぐにされ、  
そして神の栄光は明らかにされ、全ての肉体がその栄光を共に見るであろう、という夢である。

※ every valley 以下は旧約聖書「イザヤ書」40:4-5。ヘンデル「メサイア」の歌詞にもある。欽定訳英語聖書原文は  
~ and every mountain and hill shall be made low, and the crooked shall be made straight, and the rough places plain,~

This is our hope, and this is the faith that I go back to the South with.

これがわれわれの希望である。そして、この信念とともに、私は南部へと帰って行く。

With this faith, we will be able to hew out of the mountain of despair a stone of hope.

この信念とともに 我々は ~できるだろう ~から切り出す 山から 絶望の 石を 希望の

この信念とともに、我々は、絶望の山から希望の石を切り出すことができるだろう。

With this faith, we will be able to transform the jangling discords of our nation

変える 耳障りな 不協和音を 我々の国の

into a beautiful symphony of brotherhood.

~に 美しい 交響曲 兄弟愛の

この信念とともに、我々は、我々の国の耳障りな不協和音を、  
兄弟愛の美しい交響曲に変えることができるだろう。

With this faith, we will be able to work together, to pray together, to struggle together,

働く 一緒に 祈る 奮闘する

to go to jail together, to stand up for freedom together,

刑務所へ行く 立ち上がる 自由のために

knowing that we will be free one day.

(分詞構文)~と確信して 自由になるだろう いつの日か

この信念があれば、我々は、共に働き、共に祈り、共に闘い、共に牢獄に入り、  
共に自由のために立ち上がることができるだろう。いつの日か自由になるだろうと確信しつつ。

And this will be the day -- this will be the day when

そして これが その日である (関代)

all of God's children will be able to sing with new meaning:

全ての 神の 子どもたちが ~できるだろう 歌う ~とともに 新しい 意味

そしてこれこそ、その日である、  
— まさにその日、すべての神の子どもたちが、新しい意味とともに、こう歌うことができるだろう。

"My country, 'tis of thee, sweet land of liberty, of thee I sing.

我が祖国 それは汝のもの 愛する 土地 自由 私は汝を賛美して歌う

Land where my fathers died, land of the Pilgrim's pride,

地よ (関代) 我が 父祖が 亡くなった 地よ 巡礼者の 誇り

From every mountainside, let freedom ring!"

~から あらゆる 山腹 ~に~させる 自由 鳴り響く

『わが祖国、それは汝のもの。愛する自由の地よ。汝を賛美して私は歌う。  
わが父祖たちの逝きし大地よ。巡礼者の誇りである大地よ。  
あらゆる山腹から、自由よ、鳴り響け。』

※ thee=2人称単数目的格【古】 ※ sing of(~を賛美する)【詩】

※『My Country, 'Tis of Thee』は、イギリス国歌のメロディに合わせて歌われるアメリカ愛国歌。

『America』と題される場合もある。現在のアメリカ国歌『星条旗』が1931年に正式な国歌として法制化されるまでは、事実上の国歌として位置付けられていた。歌詞が誕生したのは1831年。同年7月4日(アメリカ独立記念日)、ボストンのパークストリート教会で初演され、翌年に出版された。(ちなみに『星条旗』の歌詞ができたのは1814年の米英戦争の時。)

And if America is to be a great nation, this must become true.

そしてもしアメリカが偉大な国家たらんとするならば、この歌が現実とならなければならない。

And so let freedom ring from the prodigious hilltops of New Hampshire.

Let freedom ring from the mighty mountains of New York.

Let freedom ring from the heightening Alleghenies of Pennsylvania.

Let freedom ring from the snow-capped Rockies of Colorado.

Let freedom ring from the curvaceous slopes of California.

だからこそ、ニューハンプシャー州の巨大な丘の上から自由を鳴り響かせよう。  
ニューヨーク州の雄大な山々から、自由を鳴り響かせよう。  
ペンシルベニア州のアレゲーニー山脈の高みから、自由を鳴り響かせよう。  
コロラドの雪に覆われたロッキー山脈から、自由を鳴り響かせよう。  
カリフォルニアの曲線美の斜面から、自由を鳴り響かせよう。

※以上、5つの州はいずれも南北戦争における「北部」に属する。(うち上3州は東部。またコロラドは準州だった。)

But not only that:

Let freedom ring from Stone Mountain of Georgia.

※世界最大の花崗岩の一枚岩、

南軍の中心人物3名のレリーフが彫られている。

Let freedom ring from Lookout Mountain of Tennessee.

※観光地。麓は南北戦争の戦場でもあった。

Let freedom ring from every hill and molehill of Mississippi.

From every mountainside, let freedom ring.

だが、それだけではない。

ジョージアのストーン・マウンテンからも、自由を鳴り響かせよう。

テネシーのルックアウト・マウンテンからも、自由を鳴り響かせよう。

ミシシッピのあらゆる丘と塚から、自由を鳴り響かせよう。

※以上3州は「南部」

そしてあらゆる山腹から自由を鳴り響かせよう。

※この行は上記の歌詞の最終行

And when this happens, when we allow freedom ring,

when we let it ring from every village and every hamlet, from every state and every city,

村 集落 州 市

we will be able to speed up that day when all of God's children,

～できるだけ早く その日(の到来)を (関代) 全ての神の子供たちが

black men and white men, Jews and Gentiles, Protestants and Catholics,

黒人も 白人も ユダヤ教徒も 異教徒も※ プロテスタントも カトリックも

will be able to join hands and sing in the words of the old Negro spiritual:

～できるだけ 手をつないで 歌う この歌詞 古い 黒人霊歌

これが実現する時、すなわち我々が自由が鳴り響かせる時、

あらゆる村とあらゆる集落、あらゆる州とあらゆる町から自由を鳴り響かせる時、

我々は、その日の到来を早めることができるだろう。

神の子すべてが、黒人も白人も、ユダヤ教徒も異教徒(=非ユダヤ教徒)も、

プロテスタントもカトリック教徒も、共に手を取り合って、

この古い黒人霊歌の歌詞を歌うことのできるその日の到来を。

※ Gentile 異教徒……旧約聖書の用語。ここでもユダヤ教徒と並列だから「非ユダヤ教徒」の意味。

"Free at last! Free at last! Thank God Almighty, we are free at last!"

『ついに自由になった！ついに自由になった！ 全能の神に感謝する。我々はついに自由になった！』

※黒人霊歌の歌詞では「we are free at last!」ではなく「I'm free at last!」

## 公民権運動について

### モントゴメリー・バス・ボイコット

1955年12月1日、アラバマ州モントゴメリーで、黒人女性のローザ・パークスは、公営バスの「黒人専用席」に座っていた。にもかかわらず、席のなかった白人乗客が、彼女に席を譲るように促したが、彼女は譲らなかった。客は運転手にも加勢を頼み、白人運転手も彼女に席を譲るよう命じたが、彼女はこれを拒否した。そのため彼女は、人種分離法違反で警察に逮捕・投獄され、のち州簡易裁判所で罰金刑を宣告された。

この事件に抗議してキング牧師らは、モントゴメリー市民に対して、1年にわたるバス・ボイコットを呼びかける運動を展開した。呼びかけに対して、黒人のみならず、運動の意義に共感する他の有色人種、さらには白人までもがボイコットに参加した。このモントゴメリー・バス・ボイコット運動は全米に大きな反響を呼んだ。

1956年、連邦最高裁判所が「バス車内における人種分離（＝白人専用および優先座席設定）」を違憲とする判決を出すと、アラバマ州をはじめとする南部諸州各地で黒人による人種差別反対運動が盛り上がりを見せた。

この運動は、アメリカにおいてこれまで「人種分離法」の下で分離・差別を受け続けていた黒人をはじめとする有色人種が、合衆国の公民として法律上平等な地位を獲得することを目的としていたので、「公民権運動」と呼ばれるようになった。

### ワシントン大行進

1963年8月28日、公民権運動の中でも最も有名な「ワシントン大行進」には25万人近い人々が首都に集結した。（中にはボブ・ディランなどもいた。）デモ参加者たちは、ワシントン記念塔からリンカーン記念堂まで行進した。

この日最後の演説者となったのがマーティン・ルーサー・キングだった。

キングのこの「私には夢がある」の演説は、独立宣言に盛り込まれた「すべての人間は平等に作られている」という理念を網羅するものだった。すべての人々に自由と民主主義を求めるキングのメッセージは、公民権運動の中で記念碑的な言葉として記憶されることとなった。

民主党ケネディ政権は公民権運動にリベラルな対応を見せ、南部諸州の人種隔離各法を禁止する法案を次々に成立させた。しかしケネディは1963年11月にテキサス州ダラスで暗殺され、副大統領から昇格したジョンソンがその後を継いだ。ジョンソン大統領は南部テキサス州を地盤とする保守派であったが、人種差別には否定的で、公民権法の制定に積極的だった。

翌1964年、連邦議会は「公民権法」を成立させた。それは公共の場における人種分離を禁止し、公立学校・施設における人種統合を規定し、人種や民族に基づく雇用を違法とするものである。

### ジョージ・ウォレス (George Wallace, 1919-98、民主党・アラバマ州知事、独立党・大統領候補者) Wikipedia

1958年、初めてアラバマ州知事選に立候補した時は、全米黒人地位向上協会の支持を受けて比較的穏健な主張で選挙戦を戦ったが惨敗に終わった。そこで1962年、二度目の州知事選挙では一転して過激な主張を繰り返し、人種隔離政策や労働者の権利拡大を強く訴え、圧倒的得票でアラバマ州知事に就任した(在任1963-67)。このとき彼が掲げたスローガンは

**「今ここで人種隔離を！明日も人種隔離を！永遠に人種隔離を！」**

**I say segregation now, segregation tomorrow, segregation forever.** という人種差別主義的なものであった。

翌1963年、ウォレスは2人の黒人学生のアラバマ大学入学を阻止するため、大学周辺を州兵で固めて自ら大学の門の前に立ちはだかった。これに対してケネディ大統領は司法省幹部から特使を派遣して2人の黒人学生に付き添わせ、大統領布告を読み上げ、彼らの入学を認めさせた。

1965年、アラバマ州セルマで始まったキング牧師率いる公民権デモ「セルマ大行進」に対しても、ウォレスは、あらゆる手段を使って停止させると宣言。民兵が催涙ガスなどを発射し65人が負傷する惨事、「血の日曜日事件」を引き起こした。

1968年の大統領選挙では、南部の白人層の代表として、人種隔離政策の継続と公民権問題に関する連邦政府の介入排除を訴える第3政党のアメリカ独立党から大統領選挙に出馬した。第二次世界大戦で日本本土無差別爆撃を指導した元空軍参謀総長カーチス・ルメイ副大統領候補とともに、ベトナム戦争での強硬政策を主張した。北部の都市部ブルーカラー労働者や白人移民らにも支持層を広げたが、この階層は当選した共和党ニクソンとも競合したため、かなり善戦したが落選した。

再びアラバマ州知事に就任(1971-79)。その間1972年、大統領候補指名選挙中に銃撃され下半身不随となり敗退した。

のち1982年に最後4期目のアラバマ州知事になった際には、過去の誤りを認め黒人を州政府に登用した。

晩年、銃撃による車椅子生活でパーキンソン病とも闘病していた。1995年には自らの責任で起きた「血の日曜日事件」の記念式典に病をおして出席し、人種隔離政策の誤りを謝罪、黒人指導者と手を取り合った。1998年、79歳で病死した。